

●第174号(二〇一四年三月)

特集 自治体の未来を切り拓くオープンデータ

- 1 識者インタビュー…オープンデータの切り拓く未来の社会
- 2 座談会「横浜の情報戦略とオープンデータ」
- 3 国におけるオープンデータの取組
- 4 内閣官房におけるオープンデータの取組
- 5 世界最先端のIT国家を目指して
- 6 総務省におけるオープンデータの取組
- 7 経済産業省におけるオープンデータの取組

- 1 横浜におけるオープンデータの取組と課題
- 2 横浜におけるオープンデータの推進とその意義と目的
- 3 オープンデータの基盤を創る
- 4 ①・2 GISを活用した地域情報基盤
- 5 民間との協働でオープンデータの利活用をどう進めいくか
- 6 ④多様性×技術で起こすイノベーション
- 7 海外・他都市にみるオープンデータの取組
- 8 データシティ・鯖江の取組
- 9 オープンデータにおける自治体間連携の必要性
- 10 ③コラム 横浜インテリナショナルオープンデータデイ

- 1 職員の疑問に答えるオープンデータの基礎知識
- 2 職員座談会…オープンデータと新しい行政の形
- 3 ⑥コラム 横浜インテリナショナルオープンデータデイ
- 4 ①はじめに
- 5 ②人口動態・人口動向の全体像をつかむ
- 6 ③人口動態・人口動向からみる特徴
- 7 ④宮坂彰志、長山賢、鈴木康弘、望月正毅、万年邦佳
- 8 ⑤将来人口推計のメカニズム
- 9 ⑥見えない未来と向き合うために
- 10 ⑦人の移動を読む2つの視点
- 11 ⑧「駅周辺エリア」と「子育て世代」の動態分析
- 12 ⑨居住地の選択と定住意向の変化
- 13 ⑩個別人口動態分析
- 14 ⑪鶴見区 区民はどこから転入しているのか?

- 1 隣接自治体との連携可能性を考える
- 2 港区 定住層を呼び込むには
- 3 保土ヶ谷区 人口減少時代の施策立案
- 4 金沢区 金沢シーサイドタウンを中心とした居住者特性分析
- 5 少子化の構造と動向
- 6 海外における子育て支援施策
- 7 臨床心理士の配置による保育園の家庭支援機能の強化
- 8 市立保育所を活用した養育支援強化モデル事業の実践報告
- 9 文化振興課主任調査員研究レポート
- 10 自治体文化資本論のためのスケッチ
- 11 水辺から横浜の風景を創る
- 12 S・U・Pで仕掛ける水辺再生

- 1 対談…横浜から始まるオープンイノベーション
- 2 自治体がオープンイノベーションを進めるための視点
- 3 「共創フロント」を中心とした横浜市の公民連携の取組
- 4 地域課題解決に向けた新たな取組とオープンイノベーション
- 5 オープンイノベーションで地域課題を解決する「ローカルグッドヨコハマ」の挑戦
- 6 ①座談会「ICTプラットフォームでコミュニティ経済を創りだす」
- 7 ②地域課題を解決するオープンイノベーションプラットフォーム「ローカルグッドヨコハマ」
- 8 ③ローカルグッドヨコハマが目指すコミュニティ経済
- 9 ④クラウドファンディングにおける3つの事例を中心に
- 10 ⑤雇用を生み出し、地域経済を活性化させるオープンイノベーション
- 11 ⑥座談会「シビックテクノロジーは地域経済を活性化するか」

- 1 インタビュー「大阪イノベーションハブの挑戦」
- 2 「コラム」大阪イノベーションハブの機能について
- 3 若者の力をオープンイノベーションに活かす
- 4 4か年計画のデータを用いたユースハッカソンを題材に
- 5 インタビュー「若者の人材育成とIT教育」
- 6 横浜ユースを通じたオープンイノベーションの可能性
- 7 「コラム」日本を支えていく人材の育成におけるグリーンの新たな挑戦
- 8 「コラム」イノベーション・プラットフォームが支える市民によるまちづくりと若者人材育成
- 9 「コラム」なぜ、今、学生にプログラミングスキルが求められるのか?
- 10 ⑧まとめ
- 11 ①オープンイノベーションに向けて
- 12 ②政策局政策支援センターから始まるオープンイノベーション

- 1 担当となつて5冊目となる今号も、たくさんの方にご協力をいただくことで完成することができた。
- 2 毎回、「調査季報」は自分の持っている時間資源、知的資源、人的資源などを最後の一滴まで絞るようになっているが、今回は「やり切った感」と同時に「やり残した感」が心に溢れ返っている。
- 3 「コミュニティデザイナー」というテーマについては、横浜における「コミュニティデザイナー」的人材の変遷、従来の「リーダー」との違い、フォロワーとの関係性など地域のネットワーク構造モデルの作成、派遣型の「プロ」も含めた「コミュニティデザイナー」的な人材の「配置論」の「プロ」も含めた「コミュニティデザイナー」的な人材の「配置論」の提言など、深めるべき論点はいくらでも存在したが、いずれも時間や紙面等の都合により今後の課題とせざるをえなかったが、「コミュニティデザイナー」を巡る「研究コミュニティ」をデザインしながら、「実践と理論」の架け橋を築いてゆきたい。(米満)

- 1 今回の特集では、地域で活動されている14名の方のインタビューを行いました。これほど多くの方のお話を伺ったことは、これまでなかったように思います。始められたきっかけも様々、活動されている分野も多様ですが、コミュニティにおいて活躍されている方々の思いの一端をお伝えできれば幸いです。(石井)

編集後記

担当となつて5冊目となる今号も、たくさんの方にご協力をいただくことで完成することができた。心より感謝申し上げます。

毎回、「調査季報」は自分の持っている時間資源、知的資源、人的資源などを最後の一滴まで絞るようになっているが、今回は「やり切った感」と同時に「やり残した感」が心に溢れ返っている。

「コミュニティデザイナー」というテーマについては、横浜における「コミュニティデザイナー」的人材の変遷、従来の「リーダー」との違い、フォロワーとの関係性など地域のネットワーク構造モデルの作成、派遣型の「プロ」も含めた「コミュニティデザイナー」的な人材の「配置論」の「プロ」も含めた「コミュニティデザイナー」的な人材の「配置論」の提言など、深めるべき論点はいくらでも存在したが、いずれも時間や紙面等の都合により今後の課題とせざるをえなかったが、「コミュニティデザイナー」を巡る「研究コミュニティ」をデザインしながら、「実践と理論」の架け橋を築いてゆきたい。(米満)

今回の特集では、地域で活動されている14名の方のインタビューを行いました。これほど多くの方のお話を伺ったことは、これまでなかったように思います。始められたきっかけも様々、活動されている分野も多様ですが、コミュニティにおいて活躍されている方々の思いの一端をお伝えできれば幸いです。(石井)

●第175号(二〇一四年十二月)

特集 横浜の人口を読む

- 1 はじめに
- 2 横浜の人口動向の全体像をつかむ
- 3 人口動態・人口動向からみる特徴
- 4 宮坂彰志、長山賢、鈴木康弘、望月正毅、万年邦佳
- 5 将来人口推計のメカニズム
- 6 見えない未来と向き合うために
- 7 人の移動を読む2つの視点
- 8 「駅周辺エリア」と「子育て世代」の動態分析
- 9 居住地の選択と定住意向の変化
- 10 個別人口動態分析
- 11 鶴見区 区民はどこから転入しているのか?

- 1 隣接自治体との連携可能性を考える
- 2 港区 定住層を呼び込むには
- 3 保土ヶ谷区 人口減少時代の施策立案
- 4 金沢区 金沢シーサイドタウンを中心とした居住者特性分析
- 5 少子化の構造と動向
- 6 海外における子育て支援施策
- 7 臨床心理士の配置による保育園の家庭支援機能の強化
- 8 市立保育所を活用した養育支援強化モデル事業の実践報告
- 9 文化振興課主任調査員研究レポート
- 10 自治体文化資本論のためのスケッチ
- 11 水辺から横浜の風景を創る
- 12 S・U・Pで仕掛ける水辺再生

- 1 対談…横浜から始まるオープンイノベーション
- 2 自治体がオープンイノベーションを進めるための視点
- 3 「共創フロント」を中心とした横浜市の公民連携の取組
- 4 地域課題解決に向けた新たな取組とオープンイノベーション
- 5 オープンイノベーションで地域課題を解決する「ローカルグッドヨコハマ」の挑戦
- 6 ①座談会「ICTプラットフォームでコミュニティ経済を創りだす」
- 7 ②地域課題を解決するオープンイノベーションプラットフォーム「ローカルグッドヨコハマ」
- 8 ③ローカルグッドヨコハマが目指すコミュニティ経済
- 9 ④クラウドファンディングにおける3つの事例を中心に
- 10 ⑤雇用を生み出し、地域経済を活性化させるオープンイノベーション
- 11 ⑥座談会「シビックテクノロジーは地域経済を活性化するか」

- 1 インタビュー「大阪イノベーションハブの挑戦」
- 2 「コラム」大阪イノベーションハブの機能について
- 3 若者の力をオープンイノベーションに活かす
- 4 4か年計画のデータを用いたユースハッカソンを題材に
- 5 インタビュー「若者の人材育成とIT教育」
- 6 横浜ユースを通じたオープンイノベーションの可能性
- 7 「コラム」日本を支えていく人材の育成におけるグリーンの新たな挑戦
- 8 「コラム」イノベーション・プラットフォームが支える市民によるまちづくりと若者人材育成
- 9 「コラム」なぜ、今、学生にプログラミングスキルが求められるのか?
- 10 ⑧まとめ
- 11 ①オープンイノベーションに向けて
- 12 ②政策局政策支援センターから始まるオープンイノベーション

編集・発行
横浜市政策局政策課
 〒231-0017 横浜市中区港町1-1
 TEL. 045-671-4087
 FAX. 045-663-1225

2015年12月発行
 ISSN0387-8899
 印刷/亜細亜工業写真株式会社
500円(消費税込み)